

**もっと知りたい！
町会・自治会のこと**
**ホームページを
是非御覧ください！**
福生市 町会長協議会 website



「ちいき」バック
ナンバーも掲載
しています。



月2回の健康体操教室で健康な体づくり

体を動かすことは、毎月2回実施の健康体操教室も町会が主催です。町会は諸団体が開催するスポーツ、娯楽、レクリエーション事業に協賛・応援をし、会員の親睦と健康増進の手助けをしています。

最後の！ 福生大凧揚げ大会が開催されました

令和5年5月5日福生中央公園で福生大凧連合会の大凧揚げ大会が開催され、晴天の青空のもと、大凧が大空に舞い上がりました。最後となった今大会について、設立大凧会の会長に所感をいただきました。



令和5年度福生大凧揚げ大会についての所感

福生大凧連合会は設立30周年をもって、連合会を解散いたしました。

平成5年に志茂二大凧会が発会して、その2年後の平成7年に福生大凧連合会が発会されました。

当初は熊川内出南町会、長沢町会、加美第一第二町会、志茂二町会の4団体で結成し、その後本七町会、本八町会が加わって6団体で今年令和5年の30周年記念大会まで行ってきました。

福生大凧連合会では当初、静岡県浜松市の凧揚げ祭り、新潟県の白根凧揚げ合戦、埼玉県の庄和町大凧祭りなどへ、研修旅行に行き、祭りの行事などを見学して、福生でできる大凧揚げ大会を模索してきました。

福生には熊川地区と福生地区が一緒に行うイベントがなかったので、この大凧揚げ大会が一緒に行う初めてのイベントになりました。その時は本当にうれしく思いました。私たちの時代には、福生には小学校が4校、中学校が1校しかなかったので、全地区に案内しやすかった事もあって、運よく多くの人たちから賛同を得ることができました。

そして、福生市制30周年記念の30畳、市制40周年記念の40畳の大凧揚げの際には、異なる地域の人たちが一つになって、一緒に1枚の大凧を揚げました。この体験は、最も思い出に残る出来事でした。

また「遊び」というテーマで始めた大凧揚げ大会ですが、ここまで続けられたのは、町会の援助と福生市の地域活性化交付金による資金援助、そして地域の人々の協力と応援があったおかげで30年間続けることができました。本当にありがとうございました。

これからは、違った形で体に無理のない、地域での活動を協力していきたいと思えます。長い間応援ありがとうございました。

志茂二大凧会 会長 柘植 守